

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間5	履修区分	選択	使用教科書	
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等	

学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> 薬物は心身に身を減らし、人生を一変させてしまうものであること、薬物が日本や世界で蔓延している現状には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や国内外の組織があることを理解している。 薬物乱用防止の方策を検討することを通じて、課題を見つけ、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案している。 薬物のない環境づくりをどのように実現するか考察するとともに、自らの意思で探究に取り組もうとしている。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導	面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票 NHK高校講座 <small>放送局インターネット課</small>	観点		評価規準	
薬物乱用が心身や社会にもたらす影響と防止のための対策	1	①	I・II・III期			知識・技能	違法薬物が心身に及ぼす悪影響に関する調査結果を、種類ごとに正確に収集している。薬物乱用の防止やその危険性の啓発に関しての理解は、警察や学校等様々な人々や国内外の組織が長年取り組み続けている課題であることに気付いている。	
						思考・判断・表現	課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積している。少年の薬物乱用の実態、薬物の有害性・危険性等について、事実や関係を整理し、事象を比較したり、薬物に手を染める原因を推測したりして分析している。相手や目的、意図に応じて論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
						主体的に学習に取り組む態度	薬物の使用を誘われた際にどのように断るか、他と協議し、自他の考えを生かしながら、考察しようとしている。薬物蔓延のない社会を次世代で実現するために、自らが主体的に蔓延防止に取り組む存在であることの自覚をもって、社会環境づくりに貢献し続けようとしている。	